

1. 高野宙 (Pineapple-man)

2. story@pineapple-man.com / 080-9585-1731 (日本)

3. キャリア目標：自身の創造的なビジョンと技術的なスキルを活用し、視覚的に魅力的で感情的に響く映画を制作。観客との深いつながりを築くことを目指す。

4. 職歴：

- 2020年12月 -現在：映像プロダクション株式会社 THE TWO (創業者/CEO/映画監督)
- 2010年 - 現在：フリーランス監督/グラフィックデザイナー
- 2014年 - 2018年：Flying Samurai Samurai Pictures (アートディレクター)

5. 教育歴：

- 2017年2月：New York Film Academy、映画監督術修士課程修了
- 2010年2月：大阪芸術大学、放送学科広告コース卒業
- 2006年2月：新潟県立長岡大手高等学校卒業

6. 主なプロジェクト：

- 2010年：GREEN TSUDAボクシングジム 興業映像ディレクター
- 2011年-2012年：United Student Athletics 全米ツアー  
専属カメラマン/グラフィックデザイナー
- 2012年：MV「Give me tonight -takao」BTSカメラマン
- 2013年：「新潟で映画とろうぜ」新潟芸妓映画プロジェクト、アートディレクター
- 2013年：長編ドキュメンタリー「刀光拳影」監督/撮影/編集
- 2014年：MV「LIKE A BIRD- MASASHI (SING-N-SHOUT Records)」監督
- 2015年：短編映画「OVER COFFEE」監督/脚本/編集
- 2015年：短編映画「Reflection Eternal」監督/脚本/編集
- 2015年：短編PRドラマ「とちぎの国の招待状 (栃木県, JTB)」アートディレクター
- 2016年：TETSURO space art project プロデュース/監督/撮影/編集/
- 2017年：短編映画「Inside the zoetrope」監督/脚本/編集
- 2017年：ウェブシリーズ「ミキの村」プロデュース/監督/撮影/編集/
- 2018年：長編ドキュメンタリー映画「MIFUNE THE LAST SAMURAI (日本公開版)」  
アートディレクター/グラフィックデザイナー

- 2019年：短編ホラー映画「THREESOME」監督/撮影/編集
- 2020年-22年：ウェブシリーズ「GOUGI（全9話）」監督/撮影/編集
- 2020年：「第一回長岡スマホ映画祭」企画/ディレクター
- 2021年：長岡市教育委員会 Edu-Diver コンテンツ制作部代表オブザーバー
- 2021年：「長岡市x産総研 バイオマス事業PV」監督/撮影/編集
- 2021年：新潟県立長岡工業高校 映像講師
- 2021年：長岡大学 客員講師（映像制作）
- 2021年：「第二回長岡スマホ映画祭」企画/ディレクター
- 2022年：短編映画「Knot」監督/脚本/撮影/編集
- 2022年：「防災科研プロモーション動画（全17本）」監督/構成/編集
- 2022年：「テレビ朝日xForbes Japan x群馬県 若手作家発掘プロジェクト」選出

#### 7. 賞・受賞歴：

- SSFF&Asia 2022：短編映画「Knot」（監督/脚本/撮影/編集）ノミネート
- テレビ朝日x Forbes Japan 若手作家発掘プロジェクト Future Talent Port 選出
- UTGP'16 入賞（ユニクロが開催する世界最大規模のTシャツデザインコンペ）

#### 8. スキル：

言語：日本語（ネイティブ）、英語（流暢）、映画監督、脚本執筆、撮影、編集、写真撮影、グラフィックデザイン、Webデザイン、ウェブマーケティング

#### 9. 取材歴（抜粋）：

朝日新聞

<https://www.asahi.com/articles/ASR3R76G5R3NU0HB00Q.html>

SSFF&Asia

<https://shortshorts.org/2022/program/smartphone/knot/>

日経新聞

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0CC151BA0V10C21A4000000/>

長岡市長ブログ

<https://nagaoka.rulez.jp/nagaoka-entrepreneurs-summit/>

群馬県フィルムコミッション

<https://www.gunma-fc.jp/news/promotion-video/>

## バイオグラフィ

1987年8月1日、新潟県に生まれた高野宙は、大阪芸術大学で広告を学びながら芸術的な才能と情熱を磨く。一時は広告業界を目指すか、より自由な世界観を表現できる映画の世界に興味を持ち、2010年に映画監督になるという夢を追い求め、単身でアメリカに渡り、世界最大規模の映画学校 New York Film Academyで映画監督術の修士号を取得。卒業後は、フリーランスの映画製作者およびアートディレクターとして活動し、独自のビジョンを独立系映画や商業プロダクションに貢献した。また、デザイナーとしても活動し、多くの企業向けのアートワークを制作。広告戦略やウェブマーケティングの専門家としての能力を示しました。

彼のキャリアは、2011年にピッツバーグの音楽プロデューサーと出会い、映像作家として全米ツアーのプロジェクト「United Student Athletics」に参加したことで、重要なターニングポイントを迎える。この一年間の経験を通じて、彼はアメリカのエンターテインメント業界についての理解を深めた。

その才能は、ユニクロとピクサーが共同で主催する世界最大のTシャツデザインコンペティションでは入賞したことで業界に幅広く知られ、彼のデザインしたモンスターズインクをテーマにしたTシャツは世界中のユニクロの店舗で販売される。さらにアカデミー賞受賞監督スティーブ・オカザキによる長編・ドキュメンタリー映画の日本公開版のポスターデザイン2種含むアートディレクションとデザインを手掛けた。彼の作品は、元々のバージョンを上回ると映画業界のプロフェッショナルから高い評価を受けた。

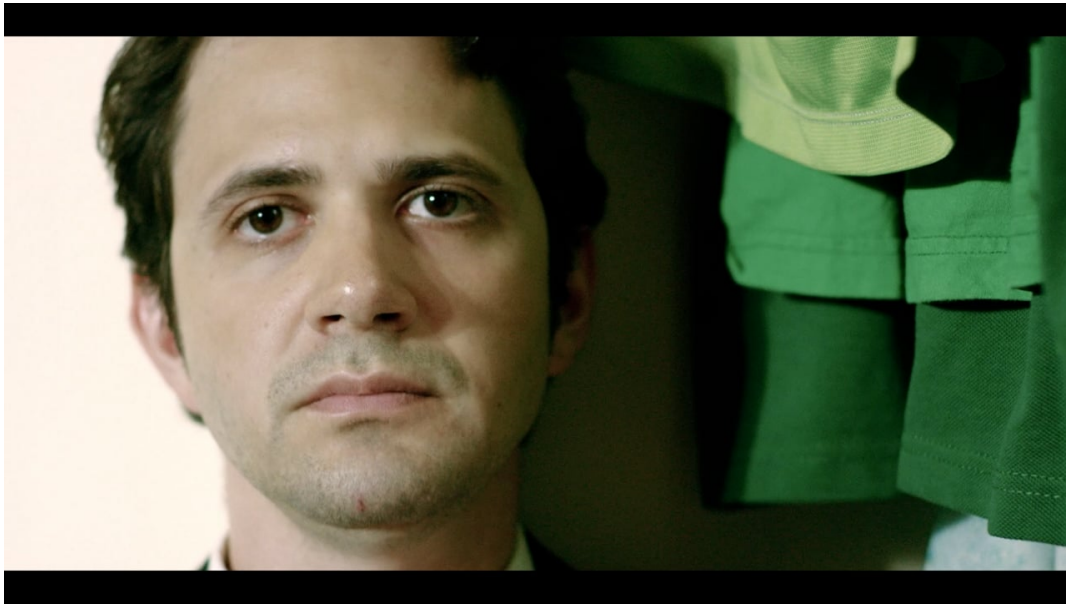
また、彼が自身で監督、脚本、撮影した短編映画「Knot」は、アジア最大の短編映画祭である Short Short Film and Asiaで選出され、その制作過程の様子はNHK BSプレミアムの特集ドキュメンタリー番組「長岡の大花火2021スペシャル『花火師たちの“魂の一発”』」で取材された。

ストリートアーティストのバンクシーやJRに影響を受けた彼は、作品に強力な社会メッセージを頻繁に取り入れ、言葉よりも視覚的な表現に用いることが多い。彼の芸術哲学は視覚的かつ時間的なスペースを残すことを重視し、視聴者が自分自身の視点から作品を解釈することを可能としている。

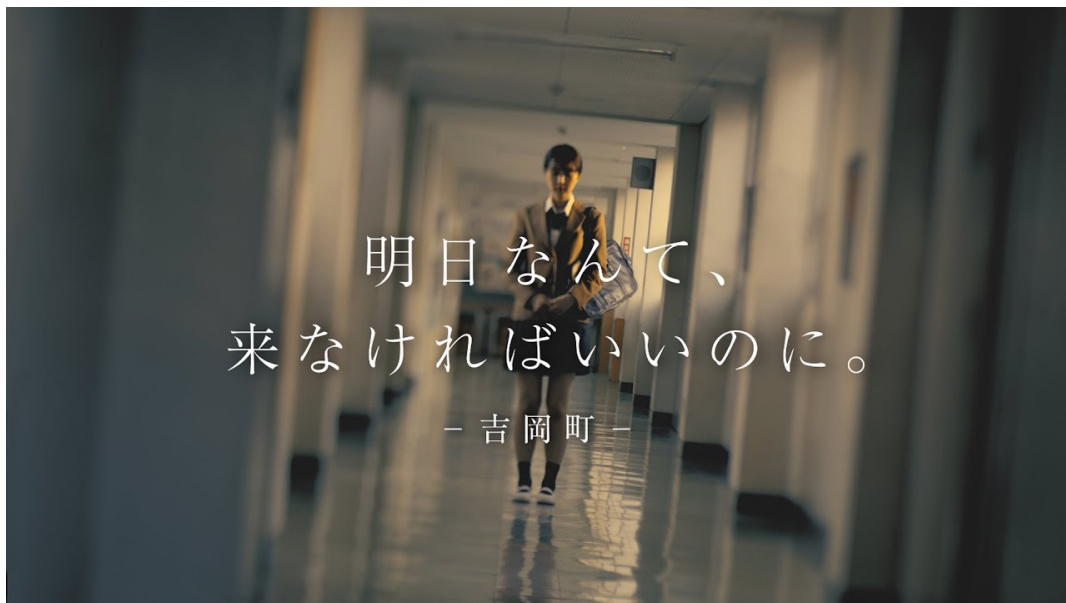
2019年に日本に帰国した彼は、故郷の新潟で映画製作会社「THE TWO」を設立し、地元の資産を活用したストーリーテリングを通じた地域振興です。地元大学での映像講師業や日本初となる「スマートフォン映画祭」を開催した彼の取り組みは日経新聞など数多くのメディアに取

り上げられるなど、映像を撮るだけでなく、物語の力を使って、地方に眠る素晴らしい物語掘り起こすことに力を入れている。2022年には、「テレビ朝日xForbesジャパンx群馬県」によるこれからの映像業界を担う若手作家発掘プロジェクトの10人のうちの一人に選ばれるなど、これからの活躍に目が離せない一人である。

過去作品ポートフォリオ (▼クリックで再生されます)



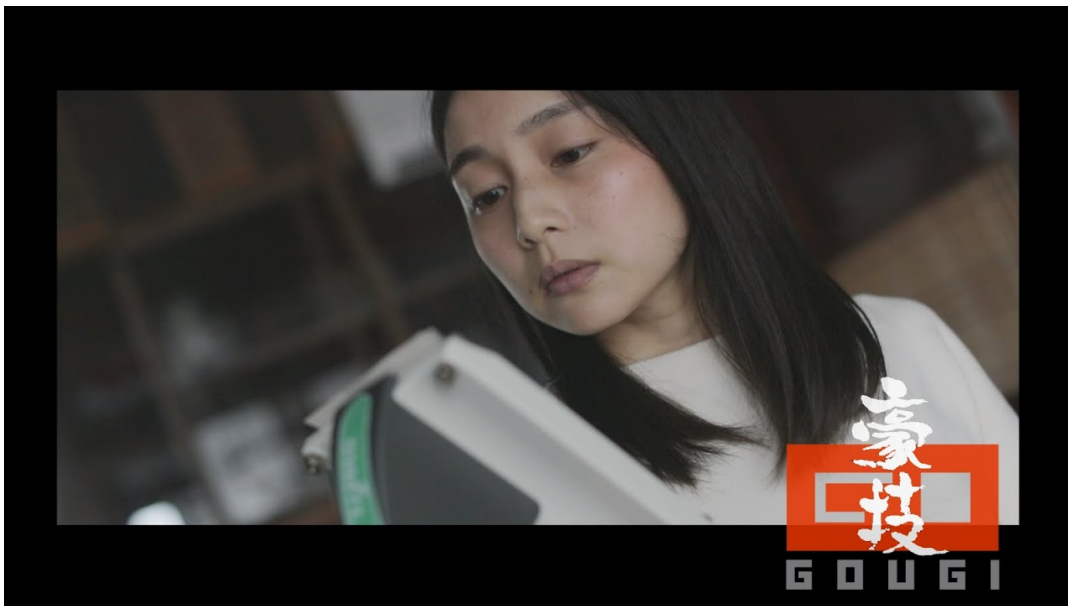
映画監督/脚本家リール



テレビ朝日x Forbesジャパンx群馬県 若手作家発掘プロジェクト  
短編映像「明日なんて、来なければいいのに。」



短編ホラー映画「THREESOME（3人組）」



ウェブシリーズ「GOUGI」第1話



コマーシャル/PV リール



**Pineapple-man**  
Art director/graphic designer

アートディレクター/デザイナー